千葉県がんセンターホームページ遺伝子診療科から下記をダウンロード

\*病理ブロックがなくてもFoundationOneLIQUID CDx、Guardant360の検査は可能です。

・がんゲノム検査 検体送付票(以降、送付票)

・希望する検査の説明資料

貴院主治医：当該患者の適格性(\*1)を確認

当院当該科受診

病理検体の評価

貴院主治医：当該患者に検査の概要を説明

がんゲノム外来初診日

・実施する検査の決定

・がんゲノム検査IC、採血

検査希望あり

貴院にて送付票に沿って病理ブロック(\*2)(\*3)および書類(診療情報提供書、遺伝子関連検査結果等)を

準備

①検査提出

約1ヶ月

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　②結果到着

③判定会議

貴院から当院地域連携室(\*4)に電話にて以下実施

①当院の患者ID発行依頼

②当該科の予約取得

③当院受診前に検体送付に沿って一式準備・送付

送付先：当院地域連携室

がんゲノム外来再診(検査結果説明)

当該科再診(治療方針決定)

＊1【適格基準】

①標準治療がない固形がん患者(この場合は未治療でも適格)又は局所進行若しくは転移が認められ標準治療が終了となった固形がん患者(終了が見込まれる患者を含む)。

②関連学会の化学療法に関するガイドライン等に基づき、全身状態・臓器機能等から本検査施行後に化学療法の適応となる可能性が高い患者。

③遺伝子解析可能な腫瘍組織がある、又は末梢採血が可能。

＊2ブロック貸し出し不可の場合は**当院の病理部へ直接**ご相談をお願いいたします。

＊3 FoundationOneLIQUID CDxまたはGuardant360を希望の場合は病理ブロックの準備は不要です。

＊4千葉県がんセンター地域連携室：043-264-5633(直通)

【保険点数】1回に限り算定可能

検査料(検査提出時、外来のみ):44,000点 + 判定料(検査結果説明時、入院でも可):12,000点　合計:56,000点(56万円)

→3割負担の場合は約17万円だが、高額療養費制度を利用できる

【適格条件】

①標準治療がない固形がん患者又は局所進行若しくは転移が認められる標準治療が終了（見込み）となった固形がん患者。

②全身状態・臓器機能等から本検査施行後に化学療法の適応となる可能性が高い患者。

上記①②に加えて以下のいずれか；

③組織のパネル検査が不成立だった

④組織がなく手術、(再)生検が困難な場合

【共通注意事項】

・検体採取後に分子標的薬による治療を行っている場合は、遺伝子プロファイルが変わることがあります。再生検もご検討ください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 検査名 | NCCオンコパネル | FoundationOne CDx | GenMineTOP | FoundationOne Liquid CDx | Guardant360 CDx |
| 検体 | 腫瘍組織と全血 | 腫瘍組織 | 腫瘍組織と全血 | 血漿 | 血漿 |
| 遺伝子数 | 腫瘍組織 | 124 | 324 | DNA 737/RNA 455 | なし | なし |
| 血漿 | なし | なし | なし | 324 | 74 |
| 血球 | 124 | なし | 40 | なし | なし |
| 変異が生殖細胞系列由来　かの区別 | 124遺伝子できる | できない | 40遺伝子できる | できない | できない |
| TMB/MSIの測定 | 〇/〇 | 〇/〇 | 〇/☓ | 〇/〇 | ☓/ 〇 |
| 検査実施から結果説明まで | 約6週間 | 約6週間 | 約6週間 | 約5週間 | 約4週間 |
| 注意事項 | ・検体量が少ない生検等向け・変異の由来が遺伝によるかどうか(40歳未満の発症、　癌家族歴が多い症例) |  | ・検体量を多く必要・変異の由来が遺伝によるかどうか(40歳未満の発症、癌家族歴が多い症例) | 薬物療法がPDになり次の薬物を投与する直前、放射線照射終了3-5日後のタイミングでご予約ください。 | 薬物療法がPDになり次の薬物を投与する直前、放射線照射終了3-5日後のタイミングでご予約ください。 |